

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 建設工事 新庁舎建設推進部会の開催				⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
				名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
				ア 新庁舎建設推進委員会の開催		3	1	1	2	2
				イ 新庁舎建設推進部会の開催		12	4	2	2	2
				ウ 新庁舎建設市民会議の開催		5	－	－	－	－
2年度計画 新庁舎建設推進部会の開催				エ 推進部会プロジェクト部会開催			27	32	15	5
				オ 工事施工者選定委員会の開催				3	－	－
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等 市民				⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
				名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
				ア 人口		79,442	79,414	79,324	78,874	
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 窓口サービスの向上 事務の効率化 防災拠点としての評価				⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
				名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
				ア 市民課窓口の対応に満足している市民の割合		84.9	84.5	87.0	87.9	
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） サービス向上に満足した市民の割合の向上				⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
				名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
				ア 市職員の対応に満足している市民の割合		83.3	82.8	83.7	85.7	
				イ						
				ウ						
				エ						
				オ						
（2）総事業費の推移										
				単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	
			地方債	千円	0	81,800	209,000	3,186,500	3,245,100	
			その他	千円	0	162,000	27,255	354,174	365,854	
			一般財源	千円	34,478	10,175	0	0	0	
	人件費		事業費計（A）	千円	34,478	253,975	236,255	3,540,674	3,610,954	
			正規職員従事人数	人	2	3	4	4	4	
			延べ業務時間	時間	2,000	3,000	4,000	4,000	4,000	
			人件費計（B）	千円	8,306	12,450	16,676	16,172	16,172	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	42,784	266,425	252,931	3,556,846	3,627,126	
（3）事務事業の環境変化・市民意見等										
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか。			市役所庁舎の老朽化等により、新庁舎の建て替えが必要となったため。							
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？			平成21年3月23日に二宮町と合併した。合併後の新市基本計画の期間内に、新庁舎の整備を計画することとした。 平成23年3月に、新庁舎建設に向けた基礎資料の収集、スケジュール等について検討するため、「真岡市庁舎建設検討委員会」を設置した。 平成26年度は、新庁舎建設基本計画策定のため、総勢40名による「真岡市庁舎建設基本計画検討市民会議」を設置し、真岡市新庁舎建設基本計画を策定した。 平成27年度は、基本設計・実施設計策定業務委託を発注した。また、「真岡市新庁舎建設推進委員会設置規程」を定めた。 平成28年度は、基本設計の概要版を取りまとめた。 平成29年度は、実施設計を取りまとめた。 平成30年度は、建設工事等の事業者選定を行い、工事に着手した。							
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？			市議会から、市民の利便性向上や行政事務の効率化のため、早急に新庁舎を建設すべきとの意見がある。							

2. 1 次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	☒ 結びついている ☐ 見直し余地がある 窓口サービスの向上と事務の効率につながる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	☒ 妥当である ☐ 見直し余地がある 公共サービスの拠点として妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	☒ 適切である ☐ 対象を見直す必要がある ☐ 意図を見直す必要がある 老朽化及び耐震性の問題から建替えは必要である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地はない ☐ 向上余地がある 庁舎建設をするものである。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☒ 影響がある ☐ 影響がない 計画的な庁舎建設に支障をきたす。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	☐ 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） ☒ 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	☐ 他の事業と統合・連携ができる ☒ 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある 事業費の削減に努めながら事業を進めていく。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか （アウトソーシングなど）	☒ 削減余地がない ☐ 削減余地がある 必要最小限の人件費である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	☒ 公正・公平である ☐ 見直し余地がある 受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性（改革案・実行計画） ☐ 廃止 ☐ 見直し（ ☐ ：目的妥当性 ☐ ：有効性 ☐ ：効率性 ☐ ：公平性） ☐ 統合 ☒ 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の 2 次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

(1) 1 次評価結果の客観性と出来具合 ☐ 記述説明不足（説明責任不充分） ☐ 評価内容が客観性を欠く ☒ 評価内容は客観的と言える																								
(2) 2 次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③効率性 ☐ 適切 ☐ 見直し余地あり ④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																								
(3) 2 次評価者として判断した今後の事業の方向性 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的絞込み ☐ 目的拡充 ☐ 事業統廃合 ☐ 事業のやり方改善 ☐ 予算削減 ☐ 予算増大 ☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(4) その他 2 次評価会議で指摘された事項																							
(5) 改革・改善による期待成果 <table><tr><td></td><td></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td></td><td></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							